



平成27年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月14日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東
 コード番号 3266 URL <http://www.fc-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 吉田 隆 TEL 03 (5212) 5212
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第3四半期の連結業績（平成26年12月1日～平成27年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第3四半期	3,902	58.4	556	141.8	516	132.1	475	122.4
26年11月期第3四半期	2,464	376.7	230	21,148.2	222	—	213	—

(注) 包括利益 27年11月期第3四半期 494百万円 (134.8%) 26年11月期第3四半期 210百万円 (4,624%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第3四半期	12.74	12.43
26年11月期第3四半期	5.79	5.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年11月期第3四半期	3,624	2,056	56.7	54.90
26年11月期	2,097	1,523	72.5	41.24

(参考) 自己資本 27年11月期第3四半期 2,054百万円 26年11月期 1,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	0.00	—	1.00	1.00
27年11月期	—	0.00	—		
27年11月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年11月期の連結業績予想（平成26年12月1日～平成27年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,980	53.2	485	77.7	458	74.1	415	65.3	11.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年11月期3Q	37,465,371株	26年11月期	37,077,371株
② 期末自己株式数	27年11月期3Q	127,500株	26年11月期	127,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年11月期3Q	37,281,119株	26年11月期3Q	36,894,981株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年12月1日～平成27年8月31日)における国内経済は、消費税増税に伴う個人消費の停滞が懸念材料となりましたが、雇用や設備投資等は改善傾向にあり、政府による経済政策や日銀の追加金融緩和、円安、原油安等の効果により、企業業績も順調に回復基調に向かっており、景気回復への期待感が高まっております。

当社グループの主要事業である不動産業界では、日銀の追加金融緩和による良好な資金調達環境を背景に不動産の取引は活性化し、J-REIT、デベロッパー等の事業会社や私募ファンドによる大規模な取引が行われる等不動産市況の回復はより鮮明になりつつあります。また、アジアをはじめとする欧米の投資マネーが日本に流入し、優良物件に投資する等の動きが見られました。太陽光発電業界におきましては、電力の固定買取制度を活用した長期安定運用ニーズ、投資促進税制等の活用ニーズや、電力小売りの全面自由化を控え新規事業者の参入も増加する一方で、固定価格の見直しが行われるなど、開発業者間の競争も高まってきました。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業におきましては、当第3四半期連結累計期間も引き続き、新たな不動産ファンドや投資家ニーズにあった魅力的な証券ファンドの開発に努めて参りました。その結果、第1号任意組合型不動産ファンドである「フォレンジティ前仲町任意組合」の組成を行い、証券会社・税理士法人グループ等の顧客紹介により、富裕層顧客に販売することができました。太陽光発電ファンド事業におきましては、第3号太陽光発電ファンド「三重芸濃ソーラーファンド」、第4号太陽光発電ファンド「栃木益子ソーラーファンド」、第5号太陽光発電ファンド「熊本明德ソーラーファンド」の組成を行い、これらも証券会社・税理士法人グループ等の顧客紹介により、富裕層顧客に販売することができました。また、新たな太陽光発電案件のソーシングも積極的に行い、更に、バイオマス、地熱発電等の再生エネルギーファンドの組成・開発についても、様々な観点から調査・研究を行って参りました。インベストメントバンク事業におきましては、販売用不動産、太陽光発電設備等の売却により、売却収益を計上することができました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高3,902百万円(前年同四半期比58.4%増)、営業利益556百万円(前年同四半期比141.8%増)、経常利益516百万円(前年同四半期比132.1%増)、四半期純利益475百万円(前年同四半期比122.4%増)となりました。

<アセットマネジメント事業>

当第3四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は156億円(一部円換算US\$1.00=121.18円)、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は214億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー及びファンド管理報酬等を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬等を計上いたしました。また、太陽光発電ファンド事業につきましてもアセットマネジメントフィー等を計上いたしました。この結果、アセットマネジメント事業全体では、売上高246百万円(前年同四半期比41.0%減)、営業損失0百万円(前年同四半期の営業利益は140百万円)となりました。

<インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、販売用不動産等の取得及び分譲販売、ファンド組み入れ物件の取得及び売却、太陽光発電設備の開発及び売却等により、3,619百万円を計上いたしました。証券投資等部門では、有価証券の運用益、金融商品仲介業務による報酬等を37百万円計上いたしました。この結果、インベストメントバンク事業全体では、売上高3,656百万円(前年同四半期比78.7%増)、営業利益709百万円(前年同四半期比228.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末において、資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産の状況)

流動資産は、前連結会計年度末比、現金及び預金が79百万円、有価証券が52百万円、未成工事支出金が32百万円減少しましたが、販売用不動産が1,267百万円、未収入金が86百万円、短期貸付金が48百万円増加したこと等により、全体で1,309百万円増加し3,035百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末比、土地が195百万円増加したこと等により、全体で217百万円増加し589百万円となりました。

(負債の状況)

流動負債は、前連結会計年度末比、短期借入金が807百万円、短期社債が200百万円増加したこと等により、全体で911百万円増加し1,466百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末比、その他が82百万円増加したことにより、101百万円となりました。

(純資産の状況)

純資産は、新株予約権の行使に伴う新株発行による資本金、資本剰余金75百万円の増加と四半期純利益475百万円の計上等により、前連結会計年度末比532百万円増加し2,056百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、上記のとおりであり、また、本日平成27年10月14日付で連結業績予想の修正を致しました。しかし、今後の業績等につきましてはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	884	804
売掛金	23	23
未収入金	16	103
有価証券	209	156
営業投資有価証券	304	329
販売用不動産	11	1,278
未成工事支出金	131	99
立替金	55	49
短期貸付金	50	99
その他	37	89
流動資産合計	1,725	3,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8	12
工具、器具及び備品(純額)	13	12
土地	151	346
有形固定資産合計	173	371
無形固定資産	2	1
投資その他の資産		
投資有価証券	94	106
その他	102	110
投資その他の資産合計	196	216
固定資産合計	372	589
資産合計	2,097	3,624
負債の部		
流動負債		
短期借入金	330	1,138
短期社債	-	200
未払金	149	58
未払法人税等	5	21
預り金	14	12
前受収益	-	12
その他	54	21
流動負債合計	555	1,466
固定負債		
その他	18	101
固定負債合計	18	101
負債合計	573	1,568

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,131	1,169
資本剰余金	617	655
利益剰余金	△254	183
自己株式	△7	△7
株主資本合計	1,488	2,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	52
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	33	52
新株予約権	2	2
少数株主持分	0	0
純資産合計	1,523	2,056
負債純資産合計	2,097	3,624

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年8月31日)
売上高	2,464	3,902
売上原価	1,868	2,798
売上総利益	596	1,104
販売費及び一般管理費	365	547
営業利益	230	556
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	6
その他	0	2
営業外収益合計	6	8
営業外費用		
支払利息	6	14
為替差損	0	-
資金調達費用	-	27
その他	6	5
営業外費用合計	13	48
経常利益	222	516
税金等調整前四半期純利益	222	516
法人税、住民税及び事業税	6	40
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	7	41
少数株主損益調整前四半期純利益	215	475
少数株主利益	1	0
四半期純利益	213	475

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	215	475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	19
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益合計	△4	19
四半期包括利益	210	494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209	494
少数株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネジ メント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	417	2,031	14	2,464
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	-	-	43
計	461	2,031	14	2,508
セグメント利益又は損失(△)	140	261	△45	356

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	356
セグメント間取引消去	26
全社費用(注)	△153
四半期連結損益計算書の営業利益	230

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネジ メント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	246	3,619	37	3,902
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	-	1
計	248	3,619	37	3,904
セグメント利益又は損失(△)	△0	717	△8	708

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	708
セグメント間取引消去	4
全社費用（注）	△155
四半期連結損益計算書の営業利益	556

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。